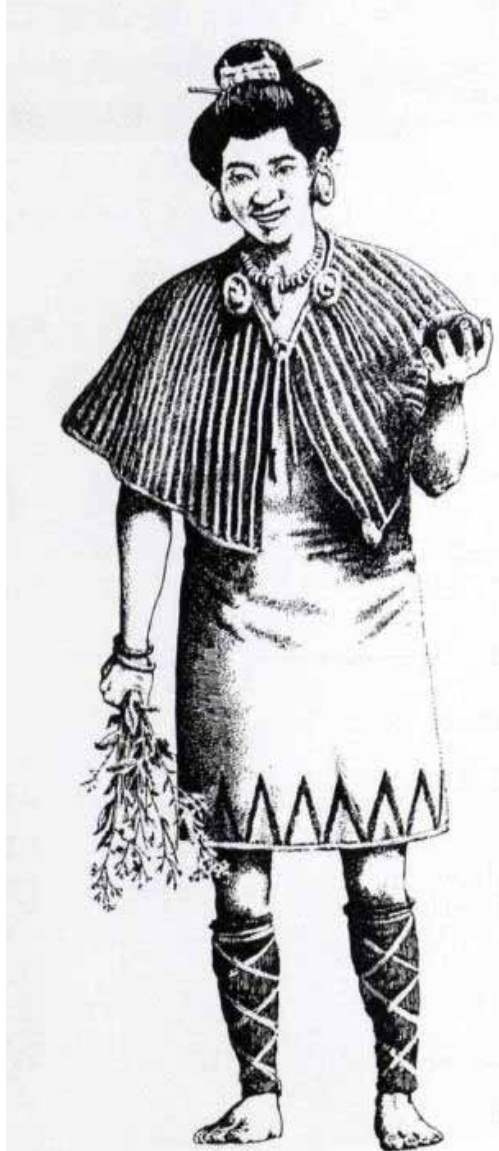


博物館活用カード

活用学年及び時代	小学校 6 年 中学校	縄文時代
活用資料コーナー及び資料名	川越のあけぼの 木製くし、土製の耳飾り、石製の垂飾り、図「縄文人の女性の装い」	
資料についての解説	木製くし 縄文時代。木製で、柄のところが漆塗りとなっている。桶川市教育委員会蔵	
学習内容	縄文人の生活 衣 ・縄文人の知恵や今の私たちとの生活とのつながりに気付かせたい。	
活用方法 〔事前の学習〕 縄文人の男女が身につけているものを予想し、絵に描く。それをもとに話し合い、考えを整理しておく。 〔博物館での学習〕 次のことを考えてみよう。 木製くし ① これは何か ② 何で出来ていると考えられるか ③ これらを見て、あれって思ったことや考えられることはありませんか。 ④これを実際に使っていたということから、どんなことがわかるか。 土製の耳飾り どのように取り付けたか。 石製の垂飾り どのようにして穴を開けたか。 みんなの描いた絵と「縄文人女性の装い」のパネルを見比べて、どんな事がわかりますか。		
評価の観点	・資料の形態や特徴を観察し、材質や使われ方を考えることができる。思考・判断 ・縄文人の知恵や自分たちの生活とのつながりに気付くことができる。知識・理解 ・食や住についても調べようとしている。関心	
活用のための留意事項	・博物館の火おこしキットを活用し、火おこし体験も学校の授業の中で取り入れるとさらに、効果的。	

